

9 授業づくり規準（社会科）

P（構想）

※本誌における社会科には地理歴史科・公民科を含みます

要素	学習指導力 (授業における姿勢や指導方法等、 各教科等共通の授業づくりの力)	教科指導力 (社会科の内容に関わる授業づくりの力)
児童生徒の実態把握	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の発達段階を踏まえた上で、生活体験や学習経験は児童生徒によって異なることを意識している。 学習の方法や理解の仕方は児童生徒によって異なることを意識している。 児童生徒の性格や学習に対する意欲等を把握している。 学習集団の特質や、個と集団の関わりを把握している。 個々の児童生徒に対して、指導上配慮すべき事項を把握している。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の既習事項の習得状況等、学習内容の理解度を把握している。 社会科に関する児童生徒の興味・関心、意欲等を把握している。
教科内容に関する知識・技能		<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領、教科書記述の内容分析を通して、内容の系統性(校種間、学年間、単元間)や関連性(教科間・分野間)を把握している。 社会的事象を多面的・多角的に捉え、教材の本質を理解している。 社会的事象について興味・関心を持ち、効果的に追究を進める知識や技能を持っている。 学校周辺の環境(自然的条件・社会的条件)や産業、地区の年中行事、郷土史について把握している。
目標の設定	<ul style="list-style-type: none"> 学習は、児童生徒自身の主体的・探究的な活動によって成立することを理解している。 学校の教育目標や課題を踏まえ、育てたい力を捉えている。 学習を通して児童生徒の自信を深め、自己肯定感を高めるという意識を持っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領の目標及び単元の目標を明確に把握し、観点別評価規準の評価観点に照らして捉えている。 各学年の目標を理解して単元の目標を設定している。(小) 各分野の目標を理解して単元の目標を設定している。(中) 各教科・科目の目標を理解して単元の目標を設定している。(高) 各授業の目標を単元の目標と単元計画に関連付けている。
単元計画(授業計画)	<p>(学習指導案の作成)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習指導案の重要性や、目標、内容、方法等の指導案の形式の意図を理解し、指導計画を表現している。 <p>(評価計画)</p> <ul style="list-style-type: none"> 具体的な到達目標とそのための適切な評価方法を選択・計画している。 自己評価、他者評価等、児童生徒が学習を改善するための手だてを考えている。 	<p>(単元計画の作成)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領の目標及び単元の目標を達成でき、児童生徒が知識及び技能を体系的に獲得できる単元計画を作成している。 児童生徒の実態に合わせて、指導内容に重みを付けたり、配列を工夫したりするなど、単元計画を作成している。 児童生徒が目的意識を持ち、主体的に取り組む活動を踏まえた単元計画を作成している。 指導計画を作成するに当たり、道徳や他教科等との関わりを考慮している。 <p>(評価計画)</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元の指導目標に照らした評価計画を作成している。
授業の構成	<p>(学習方法・形態の選択・組織)</p> <ul style="list-style-type: none"> 目標を達成するために、児童生徒の実態を踏まえた適切な学習方法や学習形態を考えている。 新たな知識・技能・学び方等を発見した 	<p>(学習内容の構成)</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元の指導内容及び単元全体の構造を理解した上で、学習内容を構成している。 思考力・判断力・表現力等を育むため、「言語活動の充実」(地図や統計など各種の資料

	<p>り、習得したりする喜びを実感できる授業を行うために、学習方法を改良・開発している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 主体的な探究活動や問題解決を考慮して授業を組み立てている。 児童生徒が学習内容や学習の過程を振り返るための手だてを考えている。 	<p>から必要な情報を読み取ること、社会的事象の意味、意義を解釈すること、事象の特色や事象間の関連を説明すること、自分の考えを論述することなどを意識して、学習内容を構成している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一斉、小集団、個で活動する場面の目的を明確に持ち、場面を設定している。(教材の選択・構成・開発) 学習指導要領の目標及び単元の目標を達成するのに適し、児童生徒の実態に合わせた教材を選択し構成している。 教材を児童生徒の実態に合わせて改良・開発している。(板書等の計画) 授業展開に即し、学習内容が構造化された板書を計画している。 本時のねらいを達成するための有効な働き掛け(説明、資料提示、発問、指示)や個への支援を計画している。
--	---	---

D (展開)

要素	学習指導力 (授業における姿勢や指導方法等、各教科等共通の授業づくりの力)	教科指導力 (社会科の内容に関わる授業づくりの力)
学習環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> 学習環境が、児童生徒の安全や認知にどのような効果を与えるかを意識している。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会科の目標や学習内容に応じて、児童生徒の行動や認知を推測し、学習環境(校外活動の安全確保、学びの足跡が分かる掲示物、教材・教具の配置、机の配置等)を整えている。
学習への構えや学び方の指導	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒がどのような姿勢で学習に臨めばよいかを明確に示し、児童生徒に意識させている。 学習過程や自分の考えをまとめていけるようなノートづくりを指導している。 	<ul style="list-style-type: none"> 事実や体験を基に考えさせたり、社会科を学ぶ際の思考・判断・表現の仕方、及び地図や統計などの資料の活用を児童生徒に意識させたりしている。 資料・グラフ等の読み取り、技能の習熟は知識の習得に裏付けられていることを意識し、それらの定着を図っている。 効果的なノートの取り方の工夫などを指導している。
個や集団への配慮	<ul style="list-style-type: none"> 個への対応に具体的な配慮をしている。 集団における学習の大切さや、個の発言の集団への影響を意識している。 	<ul style="list-style-type: none"> 板書や発問、資料提示等に配慮を要する児童生徒へ支援がなされている。
音声・表情・所作等	<ul style="list-style-type: none"> 話し方や表情・所作と児童生徒の反応との関連を意識している。 場面や目的、環境等に応じて、声の大きさ、話の速さ・緩急・強弱等の話し方や表情を工夫している。 	
指導技術	<p>(言葉遣い)</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の発達の段階に応じた適切な言葉遣いをしている。 <p>(説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> 分かりやすい言葉で、端的に説明している。 <p>(指示)</p> <ul style="list-style-type: none"> 目的を意識させながら、どんな行動をすべきかを明確に示している。 	<p>(言語)</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会科の指導に適切な表現、言語を使用している。 <p>(説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童生徒のつまづきやすい点を推測し、分かりやすく説明している。 <ul style="list-style-type: none"> 実物教材等、具体物・地図や写真等を用いて、児童生徒がイメージしやすい工夫をして説明している。 <p>(指示)</p> <ul style="list-style-type: none"> ねらいや学習内容を踏まえ、必要とする場面で指示をしている。

	<p>(発問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒が何を問われているか理解できる発問をしている。 <p>(板書)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見やすさを考慮し、視覚的に構造化するなど、工夫しながら丁寧に板書している。 ・児童生徒の様子を観察しながら、板書している。 <p>(演技・表現)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習場面や教材の特性に応じて、適切であるとする演技をしている。 ・待つ時間や「授業のやまば」等を意識して授業を展開している。 	<p>(発問)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ねらいを達成するために、児童生徒の思考を促したり、課題を焦点化したりする発問をしている。 ・児童生徒の発達段階を考慮して適切な言葉を選び発問している。 ・児童生徒の問題意識を捉えて、発問している。 <p>(板書)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業展開に即し、学習内容が構造化された板書をしている。 <p>(演示)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科指導に必要な技術を身に付け、興味や問題意識を高めるように、児童生徒に示すことができる。(方位の見方や略地図のかき方など) <p>(教材・教具の活用、資料提示)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の場面(指導内容、指導形態、児童生徒の実態)ごとに児童生徒にとって、どんな教材・教具・資料がよいかを考え、効果的に活用・提示している。
学習活動における即時的対応	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の発言や行動を適切に受け止め、達成感、満足感を感じさせている。 ・学習内容に適した評価法を用意し、実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の発言や行動の意図を読み取り、授業目標に照らして、理由を付けて認め、適切な支援をしている。 ・児童生徒の様子と授業目標との関係を捉え、指導過程を修正することができる。 ・児童生徒の発言やつぶやきを全体の学習に生かしている。

C・A (評価・改善)

力 要素	学習指導力 (授業における姿勢や指導方法等、各教科等共通の授業づくりの力)	教科指導力 (社会科の内容に関わる授業づくりの力)
授業の振り返りと分析	<ul style="list-style-type: none"> ・「指導と評価の一体化」を意識している。 ・授業によって、児童生徒がいかに変容したかについて、絶えず関心を持っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の表れを基に、目標に照らして授業や単元を振り返り、ねらいが達成できたか、否かの原因を明らかにしようとしている。
改善に向けた手だて	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導の方法の効果について、意識的・具体的に捉え、指導方法の改善に結び付けようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・改善点を具体的にし、授業改善に生かしている。